



## 釜石の春の風景をお届けします

提供: 山田周生



橋野町（どんぐり広場裏）の菜の花畠



橋野鉄鉱山インフォメーションセンター付近の八重桜

## 5月14日 釜石駅前広場花壇の花植え作業

## 釜石駅前広場 色鮮やかに

釜石駅前広場の花壇の花植え作業が行われました。これは震災後、拓殖大学の学生ボランティアや釜石市赤十字奉仕団が中心となり、毎年行われているものです。この3年間、拓殖大学は参加できていませんが、赤十字奉仕団や市内高校生ボランティア、民間企業などから36人が集まり、マリーゴールド、ニチニチソウ、ベゴニア、サルビアの4種類、合計600株を植えました。参加者は「地域の景観を良くすることで、自分がまちづくりに貢献できている実感もあり、嬉しい」と汗を流しました。



## 5月21~22日 KOALA CAMP(コアラキャンプ) 2022

## 「世界とつながるKAMAISHI」を目指して

根浜シーサイドとオーストラリア各地をインターネットでつなぎ、交流を深めるイベントが行われ、根浜会場には約50人が参加しました。釜石市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際し、オーストラリアのホストタウンになり、その交流は現在も続いている。

初日は、バーベキューでの交流やコンサートの開催の他、オーストラリアのパース天文台とつなぎ、北半球と南半球の星座の違いや互いの地に伝わる星にまつわるストーリーが紹介されました。

二日目は、オーストラリアの各家庭と結び、互いの朝ごはんの紹介やオーストラリアの講師から学ぶヨガのレッスン、ラグビー体験が行われ、交流を深めました。

①オーストラリア大使も来金しました  
②日本の朝ごはんとして、おにぎりや卵焼きなどを紹介



## 5月29日 海図刊行150周年記念講演会

## 一枚の海図から歴史に思い馳せる

海図は、船舶が安全に航海するために地形や水深、障害物を示した「水路の地図」です。150年前の明治5年（1872年）、日本人による海図の第1号である「陸中國釜石港之図」が刊行されました。これを記念して第二管区海上保安部・釜石海上保安部主催による講演会が市民ホールTETTOで行われ、県内外から約100人が参加しました。

講師の一人、京都女子大文学部准教授の小林瑞穂さんは「最初の海図に釜石港が選ばれたのは、当時、それだけ釜石の製鉄所が期待されていたということ。釜石港之図は、鉄の都釜石の証でもある」と、その意義を強調しました。



現在と見比べると、釜石湾周辺の様子が大きく変わったことが分かります

## 5月25日 唐丹公民館田植え体験

## 唐丹小児童ら 米作りを体験

唐丹公民館がJAいわて花巻などと共に田植え体験会が開催されました。今年は、新たに唐丹小の児童も参加し、田植えから稲刈りまでを体験します。児童らは「普段食べているお米がこのように植えられ、育っていく事が分かった。みんなで声を掛け合って、稲刈りでもたくさん収穫したい」と10月初旬に予定している稲刈りに向け、意気込みました。地域住民も児童らとの活動に笑みを浮かべながら、恒例行事に汗を流しました。



5年目の今年は、地域住民など約50人が参加しました

## 5月31日・6月3日

2022 東北電力エネルギーチャレンジ校「出前講座」「施設見学会」  
限りあるエネルギーを大切に

東北電力株岩手支店は、子どもたちが電気やエネルギーに关心を持ち、将来のエネルギーについて考えるきっかけをつくる取り組みを行っています。5月31日は、栗林小3・4年生を対象に同支店の担当者が講師を務め出前講座を開催しました。講座では、電気を作る仕組みを実際に体験した他、水力・火力・原子力発電などをバランスよく組み合わせる「エネルギーミックス」が大切であることを学びました。6月3日は栗橋発電所（水力）を見学し、自分たちの家庭や学校で使う電気が地元の発電所で作られていることに驚き、電気への関心を高めました。

4年生の小林彩恋さんと伊藤柏花さんは出前講座や施設見学会で学んだことを生かし「使わない電気を小まめに消すなどしてエネルギーを大切に使いたい」と話しました。



①手回し発電実験に挑戦！

②栗橋発電所は99年前から地域に電力を供給していると学びました

ありがとうございます

## ドコモから双葉小へグランドピアノの寄付

双葉小は、(株)NTTドコモからグランドピアノの整備費の一部の寄付を受けました。5年生の平松隼樹くんは「先生のピアノの演奏で、歌うのが楽しみだ」と整備されたピアノでの授業に期待を膨らませました。この寄付活動は、復興支援のためにドコモグループと賛同した同グループの社員によって行われているもので、釜石市は2017年度から継続して寄付をいただいている。

## これまでいただいた寄付内容

- 2017年度 遊具などの整備（唐丹小跡地）
- 2018年度 備品整備（いのちをつなぐ未来館）
- 2019年度 タブレット端末整備（いのちをつなぐ未来館）
- 2020年度 田郷鹿子踊備品整備（川目集会所）
- 2021年度 グランドピアノ整備（双葉小）



百々岩手支店長（前列左）は「3.11を忘れない」という思いで寄付を行ってきた。子どもたちのために、ぜひ使ってもらえば」と目録を贈呈しました

## 新市庁舎建設に多額の寄付

釜石市出身で盛岡市在住の方から200万円の寄付をいただきました。寄付金は、新市庁舎の建設のために活用させていただきます。